

東雲夢通信

東雲中学校校長室通信

文責 校長 渡邊 和彦
平成三十年十月九日発行第十号

修学旅行

ずいぶん時間が経ってしまいました。が、九月十一日から十四日まで関西方面に修学旅行に行つて参りました。

二十三名の二年生、引率は私を含めて三名です。私の今回の修学力のテーマは「怒りたくないの、怒られないようにして下さい」でした。結果的に生徒達は、注意はされたとしても、怒られたり怒鳴られたりすることは全くありませんでした。こういう注意もしま



した。「就寝時間になつたら、眠れなくても寝たふりをしなさい。先生が巡回に来て『寝てますか?』と聞いても決して『はい!』と答えないように!」

いくつかトラブルもありました。運良く、または、てぎわよ

く対応できて大事に至らず、解決できたと思います。そんな渦中にあつたある生徒が、私に話しかけてきました。「校長先生、色々あつたんですが、自分、成長した気がするんです。自分にこんな弱点があるのかつて、気づいたというか、だから、今度はそれを踏まえて、気をつけようと。」S君、ありがとう! 私五十五才になりましたけど、いまだに、失敗ばかりです。気づいてはいるんですけどね!(笑)お互いに頑張ろうね!

薬師寺のお坊さん

毎年恒例の薬師寺のお坊様の説法。去年は大爆笑でしたが、今年は割と深く考えさせられました。後でわかつたのですが今回のお坊様は、薬師寺の中でも取締役にあたる、位の高い方だったそうです。こんな問いかけがありました。「学校では同じ先生が、同じ集団に、同じ環境で、同じ時間教えま

す。だけど、よく理解して成績のよい子もいれば、悪い子もいる。学校が楽しい生徒もいれば、面白くない生徒もいる。先生が好きなきな生徒もいれば嫌いな生徒もいる、なぜでしょうか?」

お坊さんは、授業を受ける生徒達の心の持ちようだ!と断言しました。感謝の気持ち忘れず、謙虚な姿勢で授業に向かう生徒、不平不満をつのらせ、他人のアラばかり探している生徒では、歴然とした差が表れると。植物は同じ肥料、同じ土壌、同じ太陽、水分を受ければ、基本的には同じよ

うに成長する。人間は?能力の差?素質?私はそれも言い訳なのだろうと思います。「幸せはあなたの心が決める」お坊様はおっしゃいます。

子どもを残念な事にしてしまうのは、私たち大人の責任もあります。親としての責任です。私にも、心当たりがあります。私は野球部の監督を二十年させて頂きました。三女は中学入学と同時にソフトボールを始めました。私はほぼ毎試合、試合を見に行きました。審判もしました。

敗戦が続くと、指導者の監督さんの判断や指導を責めるような話を、娘の前でしてしまっていました。※妻はその事を強く嫌がつていたのですが...

ある頃から娘のソフトボール選手としての成長が止まったようでした。私のせいです。子どもの成長の芽を摘んでしまったのだと思います。



唯一救いだつたのは、娘達の友人関係について、一切、価値観を押しつけなかつたことでしょうか。お陰で、彼女たちは友人に恵まれていきます。